



週間情報



No.3044

発行日 平成30年11月20日

発行所 全国消防長会

一般財団法人 全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 第28回全国消防長会警防防災委員会を開催

全国消防長会警防防災委員会

平成30年11月6日(火)、大阪府大阪市(天王寺都ホテル)において、第28回全国消防長会警防防災委員会を開催しました。

会議における議案審議等は次のとおりです。

【議案審議】

- 1 消防防災ヘリコプターの安全運航のための取り組みについて

【情報交換】

- 1 非常勤消防団員の水防災に対する装備について
- 2 警防及び救急業務に従事する女性消防吏員を交えた警防活動訓練等について
- 3 災害現場等における現場中継システムの導入に係る課題について

【情報提供】

- 1 最近の消防情勢について
- 2 消防車両故障に関するアンケートの結果について
- 3 東京消防庁における平成31年度長期受託研修に関するお知らせについて
- 4 平成30年7月豪雨について
- 5 大阪府北部を震源とする地震について
- 6 北海道胆振東部地震について
- 7 平成30年7月豪雨をふまえた今後の避難勧告等の発令について
- 8 平成30年度の消防研究センターの事業について
- 9 消防防災情報通信施設等設計業務等の受託状況について
- 10 日本防災協会の事業取組状況について
- 11 建築基準法改正の検討状況について

【その他】

- 1 次期開催地について



【警防防災委員会の開催状況】

◆ 平成30年度全国消防長会救急委員会秋季常任委員会を開催

全国消防長会救急委員会

平成30年11月15日(木)、沖縄県島尻郡久米島町(リゾートホテル久米アイランド)において、平成30年度全国消防長会救急委員会常任委員会を開催しました。

会議における審議事項等は次のとおりです。

【審議事項】

- 1 平成31年度全国消防長会救急委員会秋季常任委員会の開催地について
- 2 平成31年度救急車適正利用PRポスターについて

【情報交換】

- 1 熱中症に関する各種取組み状況について
- 2 「転院搬送における救急車の適正利用の推進について」通知後の状況について



【救急委員会の開催状況】

【情報提供】

- 1 日中時間帯に運用する救急隊の配置について
- 2 平成30年北海道胆振東部地震に伴う札幌市消防局の活動状況について
- 3 不搬送事案に関する報告書について
- 4 平成30年度北九州市における口頭指導技術発表会
- 5 広島市と㈱セブン-イレブン・ジャパンとの連携について

消防本部の動き

行事

◆ わらとだ消防フェスを開催

蕨市消防本部（埼玉）・戸田市消防本部（埼玉）

蕨市消防本部及び戸田市消防本部では、平成30年11月4日（日）、イトーヨーカ堂蕨錦町店において、合同で「わらとだ消防フェス」を開催しました。

このイベントは、両消防本部において、今年2月に締結した「予防課業務連携・協力」に基づき開催したものです。

当イベントの目的は、子供から大人まで体験を通じて楽しく防災を学び、防災意識の向上を図ることとしました。

消防団員、戸田市及び蕨市オリジナルのゆるキャラ及びミス織姫・ミス小町も参加し、住宅用火災警報器の相談、消防車両展示及び水消火器体験のブースを設けました。

休日で多くの市民が集まり、効果的な火災予防運動が実施できました。



【イベントの様子】



【ワラビーくんと、とだみちゃん初コラボ！】

◆ 福岡市少年消防クラブが自主防災訓練で日頃の訓練成果を披露

福岡市消防局（福岡）

福岡市消防局では、平成30年11月4日（日）、市内各地で実施された自主防災訓練に、福岡市少年消防クラブから、雑餉地区隊及び三宅地区隊の2つの地区隊が参加しました。

自主防災訓練では、参加者が見守る中、規律訓練、訓練用水消火器を使用した消火訓練、毛布や物干し竿を利用した応急担架の作成などを披露し、日頃から消防団員指導の下で取り組んでいる訓練の成果を十分に発揮することができました。

自主防災訓練に参加することで、地域住民に対して少年消防クラブの活動を知っていただくことができ、クラブ員にとっても地域住民から歓声を浴びることで、活動の励みとなりました。



【水消火訓練の様子】



【応急担架訓練の様子】

◆ 平成30年度（第53回）自衛消防隊消防操法大会を開催

尼崎市消防局（兵庫）

尼崎市消防局及び尼崎市内の事業所で構成される尼崎市防火協会では、平成30年11月6日（火）、武庫川河川敷において、自衛消防隊による消防操法大会を開催しました。

大会当日は、消火器操法に8隊16名、屋内消火栓操法に8隊16名、屋外消火栓操法に8隊24名、小型動力ポンプ操法に8隊40名及び自動車ポンプ操法に2隊14名の合計34隊110名が出場し、研鑽練磨した初期消火訓練の成果を披露しました。

今後も、訓練での成果を生かし、各事業所と連携して防火・防災に努めてまいります。



【消火器操法】



【小型動力ポンプ操法】

◆ 消火技術競技大会を開催

峡南広域行政組合消防本部（山梨）

峡南広域行政組合消防本部では、平成30年11月7日（水）、当消防本部訓練場において、管内の15事業所から計37組74名の自衛消防隊員が参加して、消火技術競技大会を開催しました。

大会では、消火器の部及び屋内消火栓の部の2種目にて日頃の訓練成果を競い、消火技術の向上、各事業所における防火意識の高揚及び地域社会の火災予防に資することを目的に実施しました。

この競技大会は、今年で37回目の開催となりますが、年々、消火技術のレベルが上がり、質の高い内容となっています。

今回の競技大会を通じて、119番通報・初期消火の対応能力及び防火意識の向上を図ることができました。



【大会の様子】

◆ 夜間特別査察を実施

衣浦東部広域連合消防局（愛知）

衣浦東部広域連合消防局では、平成30年11月8日（木）、J R刈谷駅周辺の繁華街において、刈谷警察署と連携して、夜間特別査察を実施しました。

この夜間査察では、避難階段、避難経路や防火施設などが適切に管理されているかを確認するため、事前通告をせずに立入検査を実施し、避難障害など違反のあった5棟13テナントに、是正指導を行い、即時改善させて建物利用者の安全を確保することができました。

当消防局では、今後も定期的に夜間査察を実施して、火災による人命危険の排除及び火災予防の強化を図っていきます。



【夜間査察の様子】

◆ 火災予防運動パレードを実施

久留米広域消防本部（福岡）

久留米広域消防本部久留米消防署では、平成30年11月8日（木）、管内の篠山保育園園児と共同で、火災予防運動パレードを実施しました。

パレードでは、園児、地元消防団及び女性防火クラブの会員が、15mはしご車とともに市街地中心部を行進し、地域住民に対して火災予防を呼び掛けました。

この防火パレードは、秋季火災予防運動の実施に伴い毎年行われており、防火意識の高揚・啓発を図ることを目的としています。

当日は、園児のみなさんが約2kmの道のりを、元気な声で「火の用心」を呼び掛けて行進し、拍子木を力強く打ち鳴らしながらパレードを行いました。



【パレードの様子】

◆ 「よしもと住みます芸人」のアンカンミンカンさんを一日消防長に任命

渋川広域消防本部（群馬）

渋川広域消防本部では、平成30年11月9日（金）、秋季火災予防運動の一環として、群馬県を拠点として芸能活動をしている「よしもと住みます芸人」のアンカンミンカンさんを一日消防長に任命し、消防演習や広報活動などを行いました。

アンカンミンカンさんによる消防演習後の講評では、「きびきびとした行動で、私たちの命や財産を守ってくれている姿を見て、頼もしく感じました。」と、ユーモアを織り交ぜながら嬉しい感想を述べられ、職員の士気向上及び住民に対する火災予防の普及啓発につながりました。



【消防演習の様子】



【防火広報の様子】

◆ 管理者・副管理者による特別防火視察を実施

吉川松伏消防組合消防本部（埼玉）

吉川松伏消防組合消防本部では、秋の火災予防運動期間中の平成30年11月10日（土）、当消防組合の管理者である中原市長が吉川市の「イオンタウン吉川美南」を、副管理者である鈴木町長が松伏町の「いなげや松伏店」の特別防火視察を実施しました。

視察では、消防用設備や避難経路などの、防火設備等の維持管理状況や従業員の防火教育の内容などを確認しました。

イオンタウン吉川美南の三好マネージャーより、「火災を未然に防ぐ体制づくりをしていきたい」また、いなげや松伏店の関岡店長も「利用者の安全を第一に考えていく」と述べられ、住民の方々が安心して利用できる施設であるとともに、今後も、更なる防火体制の充実に取り組んでいくことを確認しました。



【イオンタウン吉川美南の視察】



【いなげや松伏店の視察】

訓練・演習

◆ 川崎市消防局航空隊と合同訓練を実施

海老名市消防本部（神奈川）

海老名市消防本部では、平成30年11月1日（木）、海老名市消防署南分署において、川崎市消防局航空隊（神奈川）と合同訓練を実施しました。

この訓練は、神奈川県下消防相互応援協定に基づく航空機特別応援による連携活動を強化し、航空機が必要となる災害等における、災害活動対応要領の確認、航空機の性能及び安全管理要領を習得することを目的とし、無線交信、地上誘導要領、担架等での救出訓練を実施しました。



【訓練の様子】

◆ 住宅密集地における消防訓練を実施

志太広域事務組合志太消防本部（静岡）

志太広域事務組合志太消防本部では、平成30年11月4日(日)、焼津市宗高セントラルタウン団地内において、地元消防団（焼津市）と連携し、消防ポンプ自動車5台及び可搬ポンプ5台を活用した中継送水訓練を実施しました。

訓練では、実際に団地内でホースを延長することにより、往来する人及び車両に対する危険予知やホースブリッジを使用するなど、現場経験が浅い若手隊員にとって、非常に有意義な訓練となりました。

これからも、より実践に近い訓練を計画し、市民の期待に応えられるよう努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 救急発表会を開催

四日市市消防本部（三重）

四日市市消防本部では、平成30年11月6日(火)、救急隊員の知識・技術の向上及びプロトコルに基づいた救急活動の再確認を行うことを目的として、救急発表会を開催しました。

当発表会は、当消防本部も参画している四日市地域メディカルコントロール協議会の菰野町消防本部（三重）からも救急隊1隊が参加し、計5隊の救急隊が発表を実施しました。

また、発表会内の訓練では、心疾患による循環血液量減少性ショック症例、交通外傷による循環血液量減少性ショック症例、心肺機能停止症例（2症例）及び低血糖による意識障害症例の5症例をブラインド形式で実施しました。症例進行については指導救命士が行い、地域メディカルコントロール担当医師による検証を実施しました。

今後も、医師と連携し隊員の知識、技術の向上を図っていきたいと考えております。



【ブラインド形式で実施した各種訓練】

◆ 阪急宝塚駅で鉄道テロ対応訓練を実施

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、平成30年11月6日（火）、G20大阪サミット及びラグビーワールドカップ2019の開催を見据え、阪急宝塚駅において、宝塚市消防本部、兵庫県警察及び阪急電鉄株式会社の3機関合同で、「鉄道テロ対応訓練」を実施しました。

訓練では、ホームに停車中の列車内で、不審者が刃物を振り回した後、有毒物質を散布するテロ行為におよんだという想定で、避難誘導、容疑者確保、負傷者救出、除染、トリアージなどを実施しました。

テロなどの大規模災害では、関係機関同士の連携が重要であり、今回の訓練を通して、互いの活動内容や情報伝達方法等、多くの情報を共有することができました。

今後も、訓練を重ね、関係機関との連携強化に努めてまいります。



【除染テント設定の様子】



【高度救助隊活動の様子】

◆ 高松市消防局と合同で「水陸両用バギー習熟訓練」を実施

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、平成30年11月6日（火）、当市消防教育訓練センターにおいて、総務省消防庁より無償使用として配置されている水陸両用バギーを用いて、高松市消防局（香川）と合同訓練を実施し、車両特性に対する理解を深めるとともに、走行技術等の向上を図りました。

合同訓練では、当バギーの研究・開発者である消防研究センター特殊災害研究室の久保田室長を招聘し、講義、技術指導を受けながら、浸水地域及び局地的集中豪雨により発生した泥ねい地においても、安全かつ機動力を十分発揮できるよう、車両特性を生かした走行技術、水上での危険回避技術の習熟、さらには車両のメンテナンス等についても情報交換を行いました。

今後も、緊急消防援助隊派遣時の連携強化を視野に入れ、他の消防本部（局）との合同訓練を継続していきたいと考えています。



【習熟訓練の様子】



【訓練参加隊員・車両】

◆ 町会と連携した消防演習を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁石神井消防署では、平成30年11月7日（水）、特別養護老人ホームのフローラ石神井公園において、消防演習を実施しました。

当日は、「2階リネン室から火災発生」との想定で演習が開始され、通報や初期消火、入居者の避難誘導の他、近隣の町会員がけが人の応急手当にあたりました。その後、消防隊と石神井消防団第3分団が連携して、消火活動及び逃げ遅れた方の救出活動を行い、一斉放水で演習を終了しました。

当署管内は社会福祉施設が多く、災害発生時には、地域が一丸となった活動が非常に重要です。訓練参加者からは「年々、地域の方の参加が増え、心強く感じています。」「今後も、町会等と連携してできることを考えて行動したい。」との声が聞かれました。

また、見学に訪れた近隣の保育園児からは、消防隊の活動に大きな歓声があがり、地域とのつながりを感じる消防演習となりました。



【消防演習の様子】

◆ アーケード商店街で消防訓練を実施

伊勢市消防本部（三重）

伊勢市消防本部では、平成30年11月8日（木）、管内のアーケード商店街において、商店街関係者約50人が参加し、消防訓練を行いました。

この訓練は、今年1月に発生したアーケード火災を教訓とし、同規模のアーケード商店街に協力を呼びかけ、火災発生時における初期消火、通報、避難誘導及び消防隊との連携強化を目的として実施したものです。

また、訓練後に関係者を対象とした消火器取り扱い指導を行い、火災予防リーフレットを配布しました。

今後も、地域との連携強化を図り、火災予防啓発の推進に努めてまいります。



【消防訓練の様子】



【消火器取り扱い指導の様子】

◆ 第2回高松市消防局警防技術指導会を開催

高松市消防局（香川）

高松市消防局では、平成30年11月8日（木）、香川県消防学校において、昨年に引き続き、第2回高松市消防局警防技術指導会を開催しました。

当指導会は、人員・保有資機材を最大限に活用し、安全確実かつ迅速な警防技術の向上及び小隊内での連携強化を図ることを目的として行いました。

指導会では、「耐火造2階建一般住宅の2階1室10㎡が燃焼し、2階ベランダに逃げ遅れ者1名あり」との想定のもと、高松市消防局内5消防署からの代表小隊5チームが、最優秀賞を目指して、果敢に消火活動及び人命救助活動を行いました。

県下の消防本部からも多数の方が見学する中、各チームとも、日頃の実災害や訓練等で培った警防活動の各種技術を披露しました。



【指導会の様子】

◆ 各機関連携して災害時初期対応訓練を実施

西春日井広域事務組合消防本部（愛知）

西春日井広域事務組合消防本部では、平成30年11月10日（土）、北名古屋市及び管内の基幹病院である済衆館病院が連携する災害時初期対応訓練に参加しました。

訓練では、南海トラフ大地震が発生し、管内では震度6強を観測、多数の傷病者が発生したとの想定で、二つの会場で同時に訓練が開始されました。

北名古屋市健康ドームで、北名古屋市役所職員、済衆館病院職員及び当消防本部職員が救護所を設置し、トリアージを実施後、消防団により重症者を済衆館病院へ搬送し、処置が行われました。さらに、負傷した多数の市民に対応するため、トリアージポストの設置及びタッグ管理が実施されました。病院職員及び消防団員が連携して院内搬送を行うとともに、当消防本部の救急車で重症者を他院へと転院搬送し、それぞれの傷病程度による色分け場所で応急処置を実施しました。

この訓練を通し、各関係機関がそれぞれの役割を確認するとともに、初動活動の大切さを理解し、相互の協力・連携体制の確立を図ることができました。



【シェイクアウト訓練】



【医師・看護師とともに応急処置】

研修等

◆ ハラスメント研修会を開催

上野原市消防本部（山梨）

上野原市消防本部では、平成30年11月6日（火）に、社会保険労務士小林和美事務所の小林和美氏を講師に招き、「ハラスメントについて」と題したハラスメント研修会を開催しました。

今年度、当消防本部にとって初めてとなる女性職員を迎え入れたため、数あるハラスメントの中から、セクハラやマタハラを中心に、パワハラと併せてグループワークを織り交ぜながらハラスメントについて学びました。

誰でも加害者・被害者になりえるハラスメントについて、理解を深める有意義な研修となりました。



【研修会の様子】

◆ 平成30年度第2回救急事例検討会を開催

稲敷広域消防本部（茨城）

稲敷広域消防本部では、平成30年11月7日（水）、救急事例検討会を開催しました。

当検討会は、日本医科大学千葉北総病院のドクターヘリ搭乗医師を講師として招き、当消防本部救急隊が、ドクターヘリで搬送した事例の発表及び活動の検討を行いました。

発表後には、聴講参加した近隣消防本部職員も交え、活発なディスカッションが行われました。

また、指導救命士による助言、ドクターヘリ医師より消防による救急活動等を医学的に評価いただくなど、大変有意義な検討会となりました。

最後に、ドクターヘリ医師より止血帯に関する講義をいただき、最新の知識を学ぶことができました。

今後も、検討会等を通じて、救急隊員のレベルアップに努めてまいります。



【会場の様子】



【ドクターヘリ医師による講義】

◆ 事態対処医療についての署内研修会を開催

蓮田市消防本部（埼玉）

蓮田市消防本部では、平成30年11月7日（水）、テロ災害等の対応力向上を目的として、事態対処医療についての署内研修会を開催しました。

この研修では、市内でご活躍されている医師を講師としてお迎えし、事態対処医療についての座学及び実技訓練の2部構成で実施しました。

座学は、テロ災害の特徴やその対応等についての講義をしていただき、実技訓練では、爆傷や銃創などの大量出血に対するターニケットを用いた止血処置等の実習を行いました。

参加した職員からは、「事態対処医療に対する理解が深まった」、「実践的で興味深かった」などの声が多く寄せられ、大変有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

その他

◆ 防火ポスター・防火標語コンクール入選者に対して表彰式を実施

印西地区消防組合消防本部（千葉）

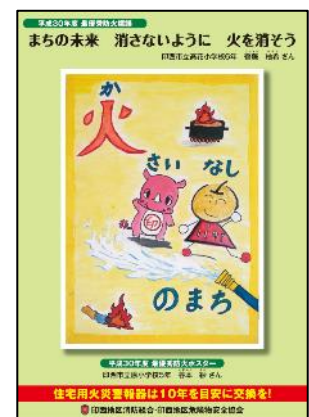
印西地区消防組合消防本部では、平成30年11月9日（金）から15日（木）まで実施された全国火災予防運動期間に合わせて、防火ポスター・防火標語コンクールで入選された方々へ、表彰伝達式を行いました。

当コンクールは、管内小学校児童を対象に、夏休みの課題の一つとして、防火ポスター及び防火標語を募集したところ、合計1,464点の応募があり、審査の結果61名の方が入選されました。

今回、最優秀賞に選ばれた防火ポスターに描いたゆるキャラは、当消防本部が管轄する印西市の「いんザイ君」と白井市の「なし坊」をモチーフに、「火さいなしのまち」と題して作成されました。

このコンクールは、火災予防広報活動の一環として、小学生児童の防火意識の育成及び火災予防について深く理解をしてもらうことを目的に、毎年実施しているものです。

防火ポスター・防火標語の最優秀賞作品に選ばれた2名の作品は、当消防本部の火災予防普及啓発ポスターとして製作し、管内の公共施設や事業所などに掲示し、火災予防の呼び掛けに役立てられます。



【最優秀賞の防火ポスター】

消防学校からの便り

◆ 消防職員特別教育女性消防吏員講習（第1回）を実施！

静岡県消防学校

静岡県消防学校では、平成30年11月1日（木）及び2日（金）の2日間、消防職員特別教育女性消防吏員講習（第1回）を実施し、県内消防本部（局）の女性消防吏員12名が入校しました。

この講習は、女性消防吏員の意欲や能力に応じた職域拡大及びキャリア形成を支援するため、警防活動等における技術及び知識を修得するとともに、女性消防吏員の活躍推進について理解を深めることを目的として、本年度から実施することとなりました。

講習では、「消防時事」、「女性活躍推進」及び「人事業務管理」に関する講義、実科訓練では、「小隊訓練」及び「実火災体験型訓練」を実施し、最新の知識・技術を修得しました。併せて実施した「事例研究」では、各所属の職場環境における現状や課題などについて、活発な意見交換を行い、情報共有を図りました。

2日間という短い講習期間ではありましたが、この講習で得た最新の知識・技術を各所属でフィードバックし、築いたネットワークを活用して、「女性消防吏員の活躍推進」の担い手として活躍していくことを期待しています。



【座学の様子】



【集合写真】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 予防業務優良事例表彰の事例募集に係る協力依頼について

（平成30年11月19日、消防予第632号）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防庁では、各消防本部の予防業務（危険物に関する業務も含む。以下同じ。）の取組のうち他団体の模範となる優れたものを予防業務優良事例として表彰し、広く全国に紹介することにより、予防行政の意義や重要性を広く周知し予防部門のモチベーション向上を図るとともに、各消防本部の業務改善に資することを目的として、各消防本部の優れた取組事例を募集することとしました。

各都道府県消防防災主管部におかれましては、貴管内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してこの旨を周知されるとともに、別添（省略）の募集要項に基づき各消防本部の事例をとりまとめの上、報告いただきますようお願いいたします。

記

第1 表彰の対象等

- 1 表彰の対象は、平成30年1月1日（月）から12月31日（月）までの間に各消防本部で力を入れた予防業務の取組を中心に、他団体の模範となる優れた事例とする。
- 2 表彰の対象者は、予防業務の取組のうち他団体の模範となる優れたものを行っている消防本部とする。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi3011/pdf/301119_yo632.pdf) に掲載されています。

【提出及び問合せ先】

消防庁予防課行政係

阿部補佐、中島主幹、松葉、戸島

〒100-8927

東京都千代田区霞が関2-1-2

電話：03-5253-7523 FAX：03-5253-7533

Email：yobo@soumu.go.jp

報道発表

◆ 予防業務優良事例表彰の事例募集

(平成30年11月19日、消防庁)

消防庁では、各消防本部の予防業務の取組のうち他団体の模範となる優れたものについて予防業務優良事例として表彰し、広く全国に紹介することにより、予防行政の意義や重要性を広く周知し、予防部門のモチベーション向上を図るとともに、各消防本部の業務改善に資することを目的として、本日から平成31年1月18日（金）までの間、各消防本部の優れた取組事例を募集いたします。

【募集対象】

平成30年1月1日（月）から12月31日（月）までの間に各消防本部で力を入れた予防業務（危険物に関する業務も含む。以下同じ。）の取組を中心に、他団体の模範となる優れた事例を幅広く募集します。

【募集内容】

各消防本部の応募の参考に資するため、募集対象となる事例について、下記の区分を設けています。

- I 予防業務の実効性向上に関する取組
- II 予防業務の高度化・専門化に関する取組
- III 予防業務の効率化に資する取組
- IV 予防業務に係る他団体との連携に関する取組
- V 予防業務に係る人材育成に資する取組
- VI 予防業務に係る広報活動に関する取組
- VII その他予防業務の改善に資する取組

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h30/11/301119_houdou_1.pdf) に掲載されています。

(事務連絡先)

消防庁予防課 阿部補佐、松葉

TEL 03-5253-7523 (直通)

FAX 03-5253-7533

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人 全国消防協会では、平成31年5月を目途に機関誌「ほのお」を一部改編することとしており、次のとおり試行（2019年3号までの試行）として、新しいコーナーの記事を募集しています。

- ① 知識・技術の伝承-教えて！消防技術-
- ② 女性職員の活躍・推進

執筆要領等の詳細は、週間情報No.3032又は機関誌「ほのお」2018年9号29頁を参照願います。

なお、消防ワイドについても随時、記事を募集しておりますので、引き続きご投稿お待ちしております。※消防ワイドは、150文字程度の原稿及びJPEG画像データをhonoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

TEL：03-3234-1321（機関誌「ほのお」担当：原）

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

TEL：03-3234-1321 / E-mail：weekly@fcaj.gr.jp

記事の投稿に関する注意点

- ・ 配信日（原則火曜日）から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・ 文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・ 写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・ 掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。